火災予防

火災ゼロを目指します！



消防の仕事のひとつに「予防（火災を防ぐこと）」があります。火災が起きないように建物や設備を検査したり、火災現場で火災の原因を調べて、今後の火災予防に役立てます。

予防査察

学校や工場、公共施設など、たくさんの人が出入りする場所に、消火器やスプリンクラーなどの消防用設備が適切に設置され管理されているか検査します。これを「査察」と言います。



査察のようす

消防用設備の検査・指導をします。





消防用設備は学校以外にもスーパーやレストランなどにも設置してあります。探してみよう。

危険物施設の審査

ガソリンや灯油、花火に使用する火薬などは、取り扱いをあやまると大きな火災になるため「危険物」と呼ばれています。危険物を取り扱う施設が整備されているか審査します。



ガソリンスタンドやタンクローリーを審査します。



花火大会を開催する前に消防が安全確認を行います。



火災を防ぐ取り組み

「防火」「防災」意識を高めるため、各種イベントを開催やポスター・チラシなどの作成、ＷＥＢサイトでの情報発信など、火災予防について広くわかりやすく伝えています。

火の用心シール





県内企業とのコラボ

防火パレード



消防車が並んで地域を回り火災予防を呼びかけます。

花火の火災予防



防火予防のうちわ「花火の火災を防ごう！」



枯れ草火災予防



WEBサイト

火災予防についての情報はホームページで紹介しています

火災予防の情報

火災原因調査

火災は火を消したら終わりではありません。焼けあとを調べ出火原因や被害の大きさなどの記録を残すことも大切な仕事です。今までの記録をつみ重ね、火災予防や消火活動に役立てます。

同じような火災を繰り返さないように、みんなに知らせるのも消防の大切な役割だぞ！

火災調査のようす



出火原因や損害の状況を調べます。

火災の出火原因

なぜ火事になったのかを調べて火災を防ぐ















メモ

消防クイズ Q&A

どんな役割をするか線で結んでみよう！

火を消す	● 火災感知器
安全に避難する	● 消火器
火災を発見する	● 誘導灯
	● 屋内消火栓

東部消防ランキング No.1

休日（非番日）は何をしていますか？

1 ランニング　2 筋トレ　3 登山

そのほか DIY、育児、ゴルフ キャンプ、ゲーム

めざせ！消防博士

煙は危険！

火災で危ないのは火だけではありません。煙を吸い込むと息が苦しくなります。また、煙で周りが見えなくなり逃げるのが大変です。煙は上に広がるので低い姿勢で避難しましょう。